

こんしゅう  
今週のことば「**弁護者**」

せいしょ  
《聖書》ヨハネによる福音書 14:15-21

べんごしや しんきょうどうやく かい  
「**弁護者**」(新共同訳、フランシスコ会

やく いわなみばんしんやくせいしよほんやくいいんかいやく たす  
訳、岩波版新約聖書翻訳委員会訳)、「助

ぬし にほんせいしよきょうかいこうごやく やく  
け主」(日本聖書協会口語訳)と訳され

ていることばの語源は、動詞「呼ぶ、招く、

なぐさ 慰める」です(新聖書大辞典「助け主」)。

「そばへよび寄せるという動詞の変化した  
ものであり、その務めは、法廷における

べんごにん せつきよくてき だす  
弁護人のように、積極的にだれかを助け、

べんご しじ せいしよしそ  
弁護し、支持することである」(聖書思想

じてん べんごしや ぶんがく ひこくにん  
辞典「**弁護者**」)。「ラビ文学では、被告人

じんかく べんご かれ ゆうり しょうげん  
の人格について**弁護**し、彼に有利な証言

をするために出廷する友人を指してい

る」(新共同訳聖書辞典「**弁護者**」)。

てがみ  
ヨハネの手紙一では、イエスは父のもと  
におられる**弁護者**として描かれています

(2:1)。イエスは弟子たちにいつまでもと  
もにいると約束されましたが、生きている

ときに弟子たちと一緒に歩まれたようには

おられないのです。今日のヨハネ福音書

かしょ  
の箇所では、イエスがなくなった後、父な

かみ だし べつ べんごしや つか  
る神が弟子たちに別の**弁護者**を遣わして、

いつまでも一緒にいるといわれています。

べんごしや せいれい  
**弁護者**である**聖霊**が、「あなたがたにす

べてのことを教え、わたしが話したことを

ことごとく思い起こさせてくださる」

(14:26)。弟子たちはイエスと共に生活し

た時は、イエスからすべてを教えてもらっ

ていましたが、イエスが亡くなった後は、

イエスにかわって**聖霊**がすべてを教えてく

ださるのです。

しとげんこうろく  
使徒言行録では、ペトロやパウロの使徒

かつどう えが しゅじんこう  
たちの活動が描かれています。主人公は

せいれい いま とき きょうかい とき  
**聖霊**です。つまり、今の時は、教会の時

あり、**聖霊**の働きによって私たちは導

かれています。普段、あまり意識しません

が、**聖霊**が私たちのなかでいて、いつまで

も共にいてくださるのです。私たちの歩む

べき道は**聖霊**が示して下さるのです。

ふっかつせつだい しゅじつふくいん ねん たきのしょうざぶろう  
復活節第6主日福音A年(瀧野正三郎)

<http://www.eonet.ne.jp/~takino/>